



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2014～2015年度 RI会長 ゲイリー C. K. ホアン  
RIテーマ ロータリーに輝きを

クラブテーマ「感謝の心で出席しよう」会長 矢岸貞夫

副会長 鈴木政則 幹事 小林 勝

第1218回例会  
2015.2. 20(金)晴

司会:岡 良森君 指揮:山口辰哉君  
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

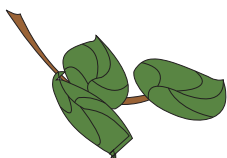
会長 矢岸貞夫君

2月14日裾野クラブ小野ガバナー補佐開会点鐘のもと静岡第2分区、I.M(インターシティーミーティング)が御殿場高原ホテルで開催されました。第1部全体会議では、7クラブの紹介、来賓の祝辞。第2部記念講演では、講師に日本CL学会代表理事杉井保之氏によるテーマ「建設的な生き方について」講演していただきました。CL(建設的な生き方)とは、文化人類学者DKレイクルズ博士が、森田療法と内観療法を元に創案し、実際的な人間になるための教育法であるとの内容でした。第3部全体会議では、我がクラブの山本良一次年度ガバナー補佐が紹介され、小野ガバナー補佐の閉会点鐘で終了しました。第4部懇親会では、食事、音楽、催し物などが行われ素晴らしいIMでした。

私の感想としましては、各クラブの参加者が少ない事を残念に思いました。次年度IM担当はせせらぎ三島ロータリークラブです、会員全員の協力をお願い致します。

この後卓話の時間では、先々週に続きクラブフォーラムです。「三年後の自分への手紙」事業について審議して頂きます。この事業は、2009年創立20周年記念事業案として始めて以来現在にいたっています。今年度で一度区切りをつけて、次年度以降も継続して行くかどうか、またこの事業に変わる事業があるかどうか等を次年度社会奉仕委員会に任せて良いかを審議して、会員の皆さまに決定して頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

ハンドベル贈呈先についてです。贈呈先については、前年度、会員の皆さんにはかり大槌町の関係機関に決まりましたが、一部の会員の意見があり再度検討することになりましたが結論がでず、今年度担当の鈴木クラブ奉仕委員長に一任することになり本日を迎えました。鈴木委員長から説明がありますので宜しくお願い致します。



出席報告

|     | 出席総数  | 出席率    | メイクアップ | 修正出席率  |
|-----|-------|--------|--------|--------|
| 前々回 | 28/34 | 82.35% | 31/34  | 91.18% |
| 今回  | 29/36 | 80.56% | 会員総数   | 39名    |

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、久保君、小島君、鈴木(真)君、田中君、望月君、渡邊君

おめでとう

会員誕生日 2月4日 内田憲一君

入会記念日 2月21日 米山晴敏君

スマイルボックス

杉山 隆君:昼間間違えて来てしまいました。間抜けな私にスマイルです。

中山和雄君:今日、また若い仲間が増えました。我々長老も若い人が増えると元気になります。

山口辰哉君:先週のIM欠席で申し訳ありませんでした。ちゃんとメイクアップしておきました。サインだけです・・・。

大房正治君:大変お世話になっています。3月1日(日)11:00に前回と同じ場所で事務所開きを行います。一人でも多くの皆様をお待ちしています。宜しくお願い致します。

山本良一君:先日は裾野クラブ主催の静岡第2分区IMに遠路多くの会員に参加いただきお疲れ様でした。次年度は当クラブの担当です。

小林 勝君:せせらぎ三島RC非公認のスノーボード同好会が発足されました。会長米山晴敏、幹事小林勝、平会員兵藤弘昭、杉山順一です。3月に強化合宿予定しております。参加ご希望の方は杉山まで連絡ください。

兵藤弘昭君:本日の新会員歓迎会楽しみにしております。原兄多さん、宜しくお願いします。

B・C・Dテーブル:2月3日B・C・Dテーブル会を開催いたしました。残金スマイルいたします。本日のクラブフォーラム盛り上がると思います。

## クラブフォーラム

### 「三年後の自分への手紙」事業についての意見

社会奉仕委員長 土屋 巧君

今年度と前年度の2年に渡り、社会奉仕委員長を担当して参りました。その中で「三年後の自分への手紙」事業に関して次のような意見が御座いますので、会員の皆様にご報告申し上げます。

(意見)

・「三年後の自分への手紙」は3年間という時間を置くため、親の事情により引越等で住所が特定できなくなり、返送ができない手紙が多い。この場合、小学校に問い合わせても、厳格に個人情報管理する観点から、新たな送付先を教えることができない。発送を開始した昨年からわずか2年で150通以上が未達になっている現状があります。手紙の処分を考えると心が痛いです。

・返送されてくるアンケートは年間50通程度。喜び、懐かしさの伝わる手紙が多いのも事実ですが、三島市・函南町内の小学5年生は毎年1,300名～1,400名です。返送率は4%程度以下となり、事業を行っている側としては達成感が薄いと言えます。

・夏休みに「手紙」を書いて頂く関係から、準備は5月ないし6月にはスタートしなければなりません。RCの年度が6月からなので、社会奉仕委員長は年度前から準備が必要になります。この際、三島・函南の教育長、各学校の校長、父兄、児童への周知も図ります。就任直後からでは遅いかも知れません。

・小学校側では、夏休み前の時期に宿題の準備、教育関連事業の連絡、伝達等々、作業が非常に多い時期でもあり、そこにプラスアルファで「手紙」をお願いすると、実感として歓迎はされていません。また、児童も宿題が増えたことと捉えられたかも知れません。学年主任の申し送りもまちまちで毎年同様な説明をしなければならないような状況です。

以上のような観点から、この事業に関して、「今年度で廃止」にはいかがかと感じております。事業の開始にあたって、ご苦労頂いた会員の方々には、心苦しい気持ちもあります。自分も少なからず、当時の経緯を存じ上げてはおりますが、今の状況は期待した通りなのでしょうか？個人的にはもう少し単純でわかりやすいものの方が良いのではと思っております。

### ハンドベルについて

鈴木政則君

前年度クラブフォーラムで大槌町に贈呈する事に決まりましたが、最終的には結論が出ませんでした。

11月9日のパスト会長会に意見を求めたら近隣の高等学校にも声を掛けたらと意見がありました。早速12月7日の理事会で贈呈する条件を決めてもらいました。条件としては、永久的に使用してくれる所・指導者のいる所・管理及び運営が出来る所に贈呈先を決める事にしました。三島北高等学校に声をかけた所、是非・当学校で使いたいのでよろしくお願ひしますと、鈴木校長さんから言われました。2月20日のクラブフォーラムでハンドベルの贈呈先について検討して頂いた結果、三島北高等学校に贈呈する事に決まりました。

## 第8回理事役員会報告

平成27年2月6日 金曜日・19時30分 より

ブケ東海三島

出席者・矢岸貞夫 小林 勝 鈴木政則 石井邦夫  
山本良一 米山晴敏 山田定男 山口雅弘  
小島 真 服部光弥 中村 徹

司会者・小林 勝

### ①親睦委員長より春の家族会の説明

3月29日(日)中伊豆ワイナリーシャトー

◎全員参加

### ②ハンドベルの件

三島北高教頭より音楽部にて譲り受けたいとの事で話を進める

### ③東日本大震災復興支援委員会と社会奉仕委員会

東日本大震災パネル展

“大槌を忘れない、忘れてはならない”

## 入会おめでとう



原 兄多(はら けいた)君

生年月日:昭和49年9月5日

職業分類:行政書士

代表事業所:原行政書士事務所

役職:代表

